

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明	
家計動向 関連 (四国)	良く なっている	-	-	-	
	やや良く なっている	百貨店（営業担当）	来客数の動き	・店舗のリニューアルによって、来客数も売上も増えている。消費を促すきっかけを作れば、消費者も反応するというものであり、景気は良くなっていると感じる。	
		スーパー（店長）	来客数の動き	・徐々に売上高の伸びが大きくなっている。来客数の増加に加え、野菜の価格が高騰している影響も大きい。	
		スーパー（店長）	販売量の動き	・気温の低下に伴い、鍋材料を中心に冬物商材の動きが好調に推移している。	
		スーパー（企画担当）	単価の動き	・来客数は前年を下回っているものの、購入単価が伸びており、売上高は前年を上回っている。商品を値上げしたことが少なからず影響したと思われる。	
		スーパー（財務担当）	単価の動き	・青果価格が高止まりしており、客単価も上昇していることから、売上高の前年比プラスが続いている。	
		コンビニ（店長）	お客様の様子	・来客数も売上も増えている。プラス一品を購入する動きがみられ、客単価も上昇している。	
		家電量販店（店員）	販売量の動き	・例年は新製品との入れ替えで売上が落ち込む時期であるが、今年は販売が伸びている。	
		乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・消費税増税前の駆け込み需要を見込んだ新型車を投入したことから、計画以上の販売となった。低調であった前年に比べ、大きく伸びている。	
		観光型旅館（経営者）	販売量の動き	・9月、10月は良くなかったが、11月は来客数が大きく増え、売上も伸びた。消費が増えており、景気が上向いているように感じる。	
		旅行代理店（支店長）	お客様の様子	・先月は台風の影響で旅行のキャンセルが相次いだ。紅葉シーズンを迎えた今月は申込が増えた。	
		通信会社（営業担当）	販売量の動き	・端末の販売数が前年と同水準までに回復した。	
		通信会社（企画）	お客様の様子	・引き続き、集合物件の一括契約等の引き合いが増加している。	
		ゴルフ場（従業員）	来客数の動き	・来場者数が前年を上回り、予約率も上がってきている。単価も、前月より若干上昇した。	
		設計事務所（所長）	販売量の動き	・民間顧客の物件の相談が徐々に増えてきている。	
		変わらない	商店街（代表者）	お客様の様子	・気温の冷え込みの影響もあるだろうが、顧客の動きが少し鈍い。週末の夜は特に悪い。
			商店街（代表者）	それ以外	・消費税増税と株式投資減税措置の終了は、個人消費に想定以上のダメージを与える。
			商店街（事務局長）	来客数の動き	・公共料金や生活必需品等の値上げが家計を圧迫しており、消費が伸びる環境ではない。少しせいたくしたい気持ちと無駄な出費は絞りたい思いのせめぎ合いが続いている。
			一般小売店〔生花〕（経営者）	お客様の様子	・来店客数は少なく、客単価も高くない。一方、法人からの注文が多く、開店・開業や事務所移転など御祝品の動きが良かった。
			スーパー（企画担当）	来客数の動き	・高付加価値商品の動きが良くなっている一方、普段の食材等には低価格志向がみられ、消費の二極化がさらに進んでいるように感じる。
			衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・大きな期待をしていたが、週末が厳しかった。祝日と土曜日が重なったことが大きくマイナスに作用した。
			衣料品専門店（総務担当）	販売量の動き	・前月に続いて売上は前年を下回っている。特に若者の動きが悪く、若者向けの店舗は大幅に悪化している。
			家電量販店（店長）	お客様の様子	・消費者は単価の安い商品、新製品等のうちどれを購入すべきか決めかねているようだ。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・夏に発売した新型車効果も落ち着き、前年並みをキープするのが精一杯である。	
		乗用車販売店（役員）	来客数の動き	・景気の底堅さと消費税増税前の駆け込み需要で、受注増を予想していたが、伸びなかった。	
		その他小売〔ショッピングセンター〕（副支配人）	お客様の様子	・気温の冷え込みとともに冬物が動きだした以外、変化はない。	

		タクシー運転手	来客数の動き	・東海や山陰に観光客を取られているのかもしれないが、お遍路さんが今年は随分と少ない。客待ちしても近距離ばかりで売上が増えず、良くなっている感じはない。
		通信会社（社員）	販売量の動き	・例年であれば新製品発売により販売量が増えるが、今年はそうした盛り上がりが見られない。
		競艇場（職員）	販売量の動き	・今月の売上は、前月比4.3%増、3か月前比28.6%減、前年比5.0%増であった。3か月前より、開催日数が7日少なく、お盆や最高峰レースがあったことを考慮すればあまり変わっていない。
		美容室（経営者）	来客数の動き	・客単価の伸び悩みが続いている。
	やや悪くなっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・秋物の売れ行きが非常に悪い。来街者数も減少し、客単価も下落している。消費者の財布のひもがますます固くなっているように感じる。
		一般小売店〔酒類〕（経営者）	販売量の動き	・例年であれば忘年会等の宴会予約が入って、忙しくなるのに、今年はそのような雰囲気はまるで感じられない。
		一般小売店〔酒〕（販売担当）	販売量の動き	・繁華街は金・土曜日くらいしか人が出ない。料飲店も客単価が低いようだ。
		コンビニ（店長）	お客様の様子	・購入点数が減少し、客単価も下落している。
		コンビニ（総務）	来客数の動き	・気温の低下とともに客足が鈍くなっている。
		衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・例年であれば来客数が多い時期であるのに、今年はかなり少ない。
	悪くなっている	一般小売店〔書籍〕（営業担当）	販売量の動き	・店頭売上と外商売上のどちらも前年割れしている。
		スナック（経営者）	競争相手の様子	・10月、11月は特に暇であったと聞く。12月末で閉店する同業者が多く、来年以降を考えると不安になる。
		タクシー運転手	お客様の様子	・3か月前より売上が落ちている。給料が上がらず、外食する機会も少なくなったと話す乗客も多い。
		美容室（経営者）	来客数の動き	・来客数が少ない。
企業動向関連 (四国)	良くなっている			
	やや良くなっている	食料品製造業（経営者）	競争相手の様子	・近隣の同業他社及び他の製造業の工場稼働率が上がってきている。また、当地の求人倍率が1.0倍を超えた。
		パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新商品のウェットティッシュが伸び、化粧品も好調で、トイレットペーパーの製造を中止した分をカバーしている。
		鉄鋼業（総務部長）	受注量や販売量の動き	・公共工事や自動車関連設備が増加しており、受注量、販売量ともに上向いている。
		一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・国内では首都圏や関西を中心に高稼働を維持し、高額商品の商談が増加している。海外では、カナダの減速感やシェールガスとの関連が大きい。その分を中東・アジアでカバーしている。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・太陽光発電は、50kW未満の小型の問い合わせが多く、資材や人の手配が出来ず、施工を待ってもらっている案件が発生している。
		輸送業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・荷物の動きが良くなっている。
		輸送業（支店長）	受注量や販売量の動き	・輸送車両の追加オーダーが発生している。
	変わらない	電気機械器具製造業（経理）	受注量や販売量の動き	・受注量・収益に大きな変動は無い。
		建設会社（経理担当）	受注量や販売量の動き	・受注量は横ばいである。
		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・公共事業の増加で受注量が増え、売上も順調に増えている。しかし、労務費や資材価格が上昇しているため、収益は今のところ何とも言えない。
		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・とにかく人材不足である。
		輸送業（営業）	受注量や販売量の動き	・本州から四国へ送られる荷物量が業者によって大きな増減がみられるが、増加は景気回復によるものではない。荷物は安価な運賃の業者へ流れる傾向にあるため、取扱量の増えている業者でも販売増加によるものとは言い切れない。

		通信業（部長）	受注量や販売量の動き	・前月と比べて受注量・販売量に大きな変化は無い。
		金融業（融資担当）	受注量や販売量の動き	・受注には反映されていないが、円安の影響から造船関係等は売上改善の期待感がある。
		公認会計士	取引先の様子	・顧客の決算や試算表をみると、建設業は若干、売上が伸びているが、その他の業種は前年と大差がない。
	やや悪くなっている	広告代理店（経営者）	取引先の様子	・紙媒体から電子媒体への移行が進み、紙媒体の受注競争が激しくなっている。
	悪くなっている	-	-	-
雇用関連	良くなっている	-	-	-
(四国)	やや良くなっている	人材派遣会社（営業）	求人数の動き	・業種を問わず、人材派遣の需要が高まっている。年末に向けて増員計画など求人ニーズも高まり、景気も少しずつ上向いている。
		求人情報誌（営業）	求人数の動き	・求人案件は、中途・新卒とも前年比10%程度増加している。特に、即戦力の中途人材を求める傾向が強まっており、企業が景気の上昇に対応する体制を整えようとしている。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	雇用形態の様子	・新聞の募集広告は引き続き好調である。しかし条件の良い職種の募集は多くないように思われる。売り出し広告は増えていないが、人材募集が多くなっていることは好材料である。
		職業安定所（職員）	それ以外	・10月の月間有効求人倍率は1.00倍で、3か月前より0.09ポイント上昇している。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・10月の新規求人数は、前年比11.3%増と、9か月連続で増加している。特に建設業における公共事業、住宅関連の駆け込み需要や、卸・小売業の年末商戦などを見込んだ求人が目立つ。
変わらない		人材派遣会社（営業担当）	周辺企業の様子	・県内の有効求人倍率をけん引しているのは建設業等一部の業種に限られている。
		人材派遣会社（営業担当）	採用者数の動き	・派遣抵触日など法律による規制があり、求人数に変化はない。
		職業安定所（職員）	雇用形態の様子	・有効求人倍率は過去最高値となっているが、条件面での変化はみられず、非正規求人の割合も変わっていない。
		民間職業紹介機関（所長）	求人数の動き	・景気に対する高揚感はある程度感じられるが、地方では採用増を考えている企業は少ない。ただ、福祉・介護職の求人数は引き続き伸びている。
		学校〔大学〕（就職担当）	求人数の動き	・累計求人数は、前年とほぼ変わらない動きをしている。
	やや悪くなっている	-	-	-
	悪くなっている	-	-	-